

# 釈迦内上中通り 「親水公園」 泥沼再生

## 上中通りため池整備推進委員会

大館市釈迦内地区では、30年ほど前から水田の減少によって、利用されなくなった「ため池」が、生活排水の流入による水質悪化も加わり、雑草と浮き草が生い茂り、悪臭のする「泥沼」と化していました。

この問題を解消するため、隣接する上通り町内会と中通り町内会で話し合い、平成17年6月に「上中通りため池整備推進委員会」を設立し、年4回程度の草刈りと周辺環境の美化活動（アヤメなどの植栽）を実施してきました。

しかし、悪臭を解消するためには、泥沼の水質改善が必要であったため、平成22年度に創設された大館市の「大館市地域づくり協働推進支援事業（愛称：地域応援プラン）」を活用し、この「泥沼」を再生させ、地域の憩いの場として活用を図っていくことにしました。

まず、この「泥沼」を将来に向け再生させ、活用するために「地域づくり計画」を策定し、平成23～24年度の2年間をかけ、地域住民総出でヘドロや浮き草等の除去といった活動を行いました。



その結果、地域の長年の懸案となっていた「泥沼」が、平成24年7月に「親水公園」として生まれ変わりました。「親水公園」の整備を契機に、自主的に活動に加わる住民も増え、池に放流する鮒や鯉を地元の方から寄贈いただくなど当初期待していた以上に活動の輪が広がってきています。ハスの花やアジサイの鑑賞のほか、花火大会や釣り大会等といったイベントにも利用できる地域の憩いの場となっており、親水公園内にはカルガモの親子が住みつくなど、明るい話題も聞こえ、地域住民同士の交流も深まっています。



泥沼のヘドロと浮き草の除去作業



完成した親水公園での釣り風景



雨水対策のための側溝敷設作業



親水公園で遊ぶ「カルガモ」の親子

- ◆所在地  
秋田県大館市釈迦内字中台60番
- ◆活動内容  
草刈り（年4回程度）、周辺環境の美化活動（アヤメ・ひまわりの植栽等）  
鯉のぼりコンクール、釣り大会、花火大会など
- ◆活動主体名及び連絡先  
上中通りため池整備推進委員会事務局（0186-48-2017）
- ◆対象となる社会資本  
釈迦内上中通り「親水公園」

